

【別紙 2】竹クラウドについて

竹クラウド

1. 定義

- ・竹クラウドを利用する利用者の区分は、「竹林所有者」、「竹材生産者」、「竹材利用者」の3区分とする。
- ・竹林経営マイスター：適正な竹林整備を推進できる竹材生産者を育成するため、県が令和7年度から実施する研修を受講し、修了した者
- ・竹林経営計画制度：県が令和7年度から構築する制度で、安定的な竹資源の供給と循環利用を促進するため、適正な竹林整備を推進する中長期的な県の基本方針を策定し、森林環境の保全と竹産業の振興を図る。竹材生産者等は、県の基本方針を踏まえた、竹林経営計画を策定し、竹クラウドに提出する。また、竹を伐採する際は、竹林経営計画に基づいた伐採を行い、竹クラウドに伐採届を提出する。

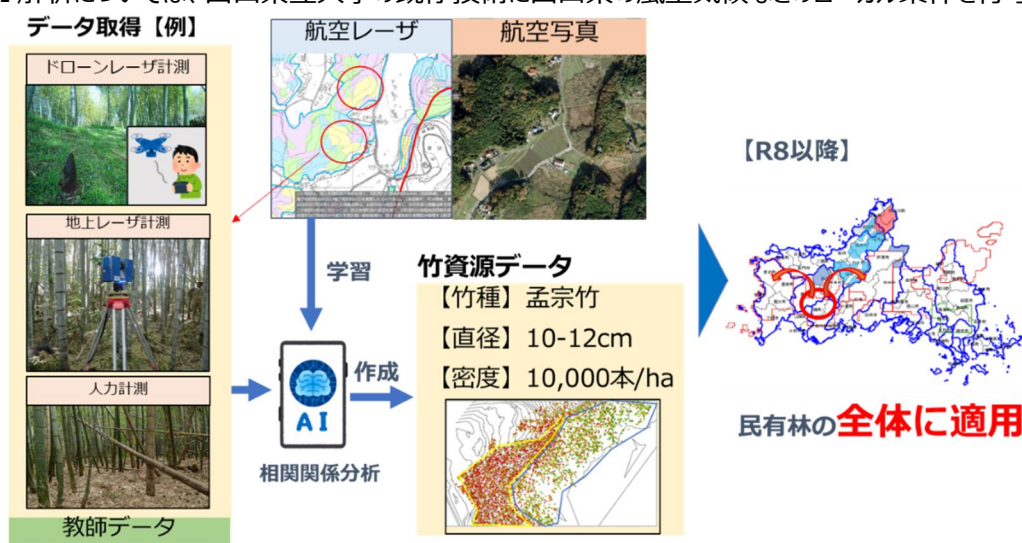
2. 内容

(1) AIを活用した竹資源情報のデジタル化

複数の取得データ（レーザ測量等による実際の本数等）を、航空写真や航空レーザ測量のデータと突合・解析し、AIにより航空レーザ等のデータから高精度の竹資源情報（分布・面積・種類・本数・径）を推定できるシステムを構築する。

- ①航空レーザ実施箇所において、竹に分類されている箇所を抽出し、2.5ha 調査区域を設定
- ②調査区域を現地踏査し、マダケ、モウソウチク、ハチクがある場所を確認
- ③レーザ測量と人力計測（竹の種類ごとに10地点）により、実際の本数等のデータを作成
- ④航空レーザ計測データと航空写真で得られる情報から、教師データを作成し AI を活用し、高精度で竹林資源を推定できる（誤差が少ない）システムを構築

※AI解析については、山口県立大学の既存技術に山口県の風土気候などのローカル条件を付与し利用



【別紙２】竹クラウドについて

(2) 竹林経営計画制度による伐採届等提出機能

竹林経営計画制度および竹に係る伐採届の支援機能を構築する。竹に係る独自帳票（フォーム）を定義するが、届出書に関する支援機能は、森林クラウドの機能を横展開することで、安価且つ短期間で構築する。竹林経営計画書の帳票（案）は次ページのとおり。

【別紙2】竹クラウドについて

竹林経営計画（認定番号 ）

様式〇号

令和〇年〇月〇日
申請者氏名 〇〇〇〇
（竹林経営マスター番号 〇〇〇〇 ）

下記計画について、適当であることから、認定します。
令和〇年〇月〇日
認定者 森林企画課長

竹林の現況及び伐採計画等

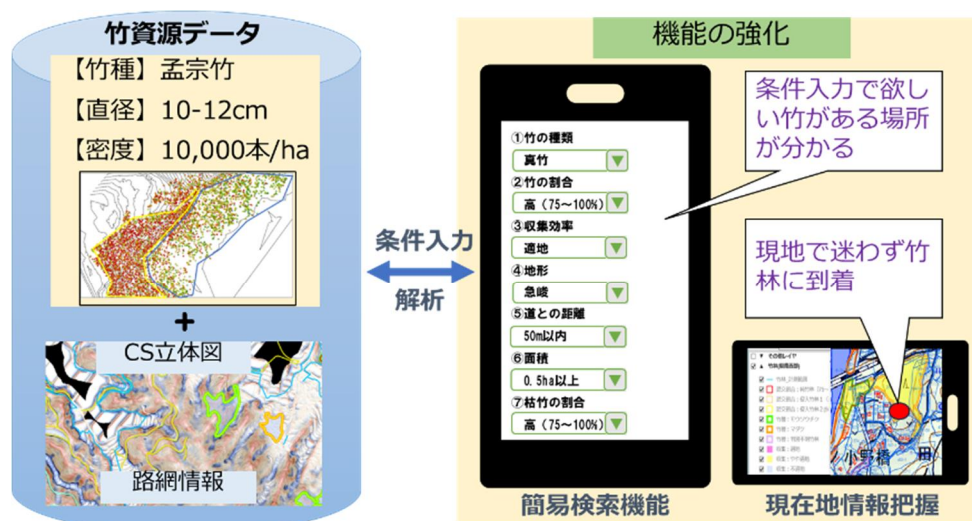
図面をクリックすれば、オレンジ塗（手入力箇所）以外は、自動転記される

所在場所										森林・竹林の区分等				(1) 竹林の現況				(2) 伐採計画										備考		
市町	大字	字 (大字)	地番	林班	準林班	小班	枝番	森林所有者氏名	同意書の添付	森林	竹林	保安林等	保安林作業許可の添	面積 (ha)①	種類	密度	重量 (t)②	施業履歴				伐採方法					伐採面積 (ha)		伐採重量 (t)	追加・変更時期
																		間伐		全伐		時期	全伐・間伐・抜伐	伐採率③						
																		時期	面積 (ha)	時期	面積 (ha)									
所有者と申請者が異なる場合、空欄はエラー表示										保安林等の場合は、○をいれないとエラー表示				①×密度(大250,中200,小100)が自動入力								①×③自動入力		②×③自動入力						
〇〇市	〇〇	〇〇	〇〇	1234	A	1	1	△△	○	水源涵養	循環利用	○	○	1.00	モウソウ	大	250	—	—	—	—	R7	帯伐	50%	0.50	125	—			
〇〇市	〇〇	〇〇	〇〇	1234	A	1	2	△△	○	水源涵養	循環利用	—	—	1.00	モウソウ	大	250	—	—	—	—	R8	群伐	60%	0.60	150	—			
〇〇市	〇〇	〇〇	〇〇	1234	B	1	—	〇〇	—	山地災害	循環利用	—	—	1.00	モウソウ	中	200	R5	0.70	—	—	R8	抜伐	10%	0.10	20	—			
〇〇市	〇〇	〇〇	〇〇	1234	B	2	—	〇〇	—	山地災害	繁茂拡大	—	—	1.00	ハデク	中	200	—	—	R3	0.50	R8	全伐	100%	1.00	200	—			
〇〇市	〇〇	〇〇	〇〇	1234	B	3	1	〇〇	—	山地災害	天然林	—	—	1.00	ハデク	小	100	—	—	R4	0.60	R8	抜伐	10%	0.10	10	—			
〇〇市	〇〇	〇〇	〇〇	1234	B	3	2	〇〇	—	快適環境	循環利用	—	—	1.00	マダケ	大	250	—	—	—	—	R9	群伐	30%	0.30	75	—			
〇〇市	〇〇	〇〇	〇〇	1234	B	4	—	〇〇	—	快適環境	繁茂拡大	—	—	1.00	マダケ	中	200	—	—	—	—	R10	全伐	100%	1.00	200	—			
〇〇市	〇〇	〇〇	〇〇	1234	B	5	1	〇〇	—	保健文化	天然林	—	—	1.00	マダケ	小	100	—	—	—	—	R9	全伐	100%	1.00	100	R7.10.7			
〇〇市	〇〇	〇〇	〇〇	1234	B	5	2	〇〇	—	保健文化	天然林	—	—	1.00	マダケ	小	100	—	—	—	—	R9	抜伐	10%	0.10	10	R7.10.7			
合 計																														
備 考																														

【別紙2】竹クラウドについて

(3) 簡易竹林情報把握機能

地形の情報と組み合わせ、竹材生産者や利用者の求める条件で、竹林情報（場所や竹林資源の概要等）を提供する。



(4) 生産者・利用者のマッチングの促進

マッチングまでの流れは、以下を想定し詳細化するものとする。

- ①竹材利用者が、利用目的や竹材の規格（種類、直径、本数等）を入力
- ②竹材生産者が、在庫状況や規格等の対応が可能か確認し、入力
- ③管理団体が納品期限等その他の条件を含めて調整の上、取引価格の調整を行う
- ④納品方法（受渡場所、納品日等）が確定すれば、マッチング成立

